



過ごしませんか？



オレンジカフェ（認知症カフェ）は、認知症の本人やドに気軽に交流したり、情報を共有したりする地域の居たり、外出のきっかけになったりと、地域とのつながり

家族、地域の人、専門職などが、「認知症」をキーワードです。共感・共有しあうことで気持ちが軽くなる場所としても開かれています。

「オレンジカフェ」で



篠原町にあるオレンジカフェレインボーへ取材に伺うと、聞こえてくるのはたくさんの笑い声。この日は「ジャンケンで勝ち抜き」と「尺八を伴奏に歌を歌おう」の2つが行われ、盛り上がりました。カフェまで徒歩で来られている人が多く、普段から「安心してゆっくり過ごすための場所」として使われています。

ここにるのが今の楽しみ

篠原町にあるオレンジカフェレインボーへ取材に伺うと、聞こえてくるのはたくさんの笑い声。この日は「ジャンケンで勝ち抜き」と「尺八を伴奏に歌を歌おう」の2つが行われ、盛り上がりました。カフェまで徒歩で来られている人が多く、普段から「安心してゆっくり過ごすための場所」として使われています。

ともに支え合うために

認知症は、さまざまな原因で脳に変化が起ること、今まで出来ていた生活が送られなくなる状態をいい、症状や進行は人それぞれ異なります。この変化は、本人だけでなく、家族にも大きな不安を与えることになります。

市内には、このほかにも自由集まれる認知症カフェがあります。左にその一覧を掲載していますので、皆さんも気軽に、足を運んでみませんか。ほっとできる場所がそこにあるかもしれません。

皆さんぜひ参加を

参加者は、「近くこうしてみんなで集まれる場所があつてうれしい。いろんな相談もできますし、毎月のイベントが今の生きがいです」と話していました。

誰もがほっと 安心できるところ



高齢になっても、認知症になっても、皆で安心して暮らせる居場所がここにはある
みんなで支えあう社会にむけて

問 長寿福祉課 TEL(31)3737・FAX(31)3738



名称・会場	開催日	問い合わせ先
あっとほーむかふえ ▲ 船木町 1192-5	奇数月の第2日曜日	デイサービスセンター あっとほーむ ☎(31)3132
オレンジカフェレインボー ▲ 上野町 1-1	毎月第3木曜日	西部地域包括支援センター ☎(36)2205
カフェ和ちや ▲ 宮内町 115-6	毎月第3木曜日	中北部地域包括支援センター ☎(31)1970
オレンジカフェ・サザン ▲ 堀上町 130-1	毎月第2金曜日	西部地域包括支援センター ☎(36)2205
おやすみ処・安土 ▲ 安土町上出 908-1	随時 (次回10月2日(木))	安土地域包括支援センター ☎(46)4134
武佐学区認知症カフェ ▲ 武佐町 764	随時 (次回10月16日(木))	武佐コミュニティセンター ☎(37)6017
東部包括介護者向け 認知症カフェ ▲ 友定町 305	不定期開催	東部地域包括支援センター ☎(43)0602

※開催日や費用など、詳しくは問い合わせ先にご確認ください。